



2020年6月30日

各 位

会社名： アサヒ衛陶株式会社
 代表者名： 取締役社長 町元 孝二
 (コード番号： 5341 東証第二部)

問合せ先： 取締役 企画管理部長 丹司 恭一

電話番号： 06-7777-2067

第2四半期及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2020年1月20日に公表いたしました2020年11月期第2四半期(累計)連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、2020年11月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を主要因とする最近の業績動向を踏まえ、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2020年11月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年12月1日～2020年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,145	百万円 15	百万円 10	百万円 5	円 銭 2.96
今回修正予想(B)	1,097	35	29	21	10.57
増減額(B-A)	△48	20	19	16	
増減率(%)	△4.2	133.3	190.0	320.0	
(ご参考)前第2四 半期実績 (2019年11月期第2 四半期)	1,272	△84	△91	△94	△57.90

2. 2020年11月期通期連結業績予想数値の修正(2019年12月1日～2020年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,400	百万円 70	百万円 60	百万円 45	円 銭 26.68
今回修正予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2019年11月期)	2,426	△281	△316	△371	△220.26

3. 第2四半期(累計)連結業績予想修正の理由

当社は2019年8月に公表いたしました中期経営計画に基づき、国内事業は構造改革による黒字化、海外事業はベトナム等の東南アジア諸国のみならず、東アフリカ諸国や中東湾岸諸国にも販路を拡大することで事業の拡大を進めております。

販売面については、国内事業は不採算事業からの撤退、また収益事業への集約が計画通りに推移しましたが、海外事業が新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、主なターゲット市場である東南アジア地域で経済的なロックダウンが発生し事業活動に遅れが生じていることに加え、当社の海外販売拠点であるベトナム市場においては、上記新型コロナウイルスの感染拡大の影響に加えて、ベトナム政府による建築関連法規の変更により同国内の建築工期に遅れが生じたため、前回発表予想時の売上高を下回ることとなりました。

一方で利益面については、国内事業が不採算事業の縮小、また事業体制のスリム化を進めたことによる製造経費の削減及び経費の削減効果により、想定を大きく上回る利益を計上するに至り、国内事業の収益増が海外事業の収益計画の未達をカバーすることにより、営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益が前回予想時を上回ることとなりました。

4. 通期連結業績予想修正の理由

2020年第3四半期以降につきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の影響により、海外事業に大幅な遅れが生じており、また国内についても、新型コロナウイルスの影響による日本経済全体の自粛・停滞の影響が、本年度後半に大きなインパクトを与えると予想されることから、今後の当社の国内事業の動向についても、非常に予測が難しい状況になってきております。このような状況から、2020年11月期通期連結業績予想の数値については、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響額を現時点で合理的に算定することが困難なことから未定とさせていただきます。今後、業績の見通しの算定が可能となった時点で公表を行う予定にしております。

※上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。

予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上